

春分の日



少しずつ暖かくなり、春の気配を感じられるようになりました。
春分の日は「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」として制定された日です。
春分の日と秋分の日を中日(ちゅうにち)として、前後3日間、合計7日間が
お彼岸の期間(先祖を供養する日)とされています。

『ぼたもち』と『おはぎ』

お彼岸と言えば『おはぎ』ですよね。地域によっては『ぼたもち』とも呼びますが、これは違うものなのではないでしょうか？

…ふたつとも同じものなんです。

漢字で書くと『お萩』と『牡丹餅』

小豆の粒を牡丹の花(春に開花)に見立てて『牡丹餅』、
萩の花(秋に開花)に見立てて『お萩』と呼びました。

春は『ぼたもち』、秋は『おはぎ』ということですね。



小豆の赤色には災いが身に降りかからないようにする願いが込められています。